

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
2024年 5 月 28 日	
八尾市長 殿	
提出者 住 所 大阪市中心区久太郎町2-5-30	
氏 名 前田道路株式会社関西支店 執行役員支店長 佐々木 伸人	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6253-7501	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	八尾空港エプロン等改良工事
事業場の所在地	八尾市空港二丁目
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	1.8億
③従業員数	5人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場発生→分別→産廃種類毎に運搬→それぞれの工場で処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（アスファルト塊）	
	排 出 量	1256 t	t
	（これまでに実施した取組）分別し、再資源化工場で処分		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（アスファルト塊）	
	排 出 量	1000 t	t
	（今後実施する予定の取組）分別し再資源化可能工場で処分		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（アスファルト塊）	
	全 処 理 委 託 量	1256 t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1256 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生・資源化する工場で処分		
※事務処理欄			

前 年 度 【 令 和 5 年 度 】 実 績

排 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況														⑪＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑫+⑬+⑭+⑮+⑯					⑳	㉑
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち、熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した自 ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外 の熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処 理委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)	⑯優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑳自ら再生利用 を行った量(t)	㉑自ら埋立処分又は 投入処分を行った量(t)			
コード 参照	名 称	発生した産業廃棄物 の種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立 処分又は海洋投入 処分した量	①の量のうち、自ら 中間処理した産業 廃棄物の当該中間 処理前の量	④の量のうち熱回収 を行った量	⑥の量のうち、自ら 中間処理を行っ た後の量	④の量から⑥の量 を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら 利用し、又は他人に 売却した量	⑨の量のうち、自ら 埋立処分及び海洋 投入処分した量	⑩の処理及び最終 処分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者 への再生利用委託量 (⑪、⑬除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施 設設置者である処理業者へ の焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外 の熱回収を行っている処理業者への焼 却処理委託量	⑭の量のうち、委託 して焼却等の中間 処理した量(⑭-⑮ を除く)	⑮の量のうち、直接 委託して埋立て最 終処分した量	⑯の量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	⑳の量と㉑の量を 合計したもの(自動 計算)	㉒の量と㉓の量を 合計したもの(自動 計算)			
1	1502 がれき類(アスコン)	1,256						0			1,256	1,256						0	0			
2								0			0							0	0			
3								0			0							0	0			
4								0			0							0	0			
5								0			0							0	0			
6								0			0							0	0			
7								0			0							0	0			
8								0			0							0	0			
9								0			0							0	0			
10								0			0							0	0			
11								0			0							0	0			
12								0			0							0	0			
13								0			0							0	0			
14								0			0							0	0			
15								0			0							0	0			
16								0			0							0	0			
17								0			0							0	0			
18								0			0							0	0			
19								0			0							0	0			
20								0			0							0	0			
合計		1,256	0	0	0	0	0	0	0	0	1,256	1,256	0	0	0	0	0	0	0			

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和年度】目標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																	
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち、熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量 (t)	⑪＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑩+⑪+⑫+⑬+⑭					⑮⑧	⑯⑨	
コード	名 称	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	⑪再生利用業者への処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)	⑯の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑰の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑱の量と⑲の量を合計したもの(自動計算)	⑳の量と㉑の量を合計したもの(自動計算)
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	⑥の量のうち、自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	⑩の処理及び最終処分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑪、⑫除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑭の量のうち、委託して焼却等の中間処理した量(⑭-⑮を除く)	⑮の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑯の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑱の量と⑲の量を合計したもの(自動計算)	⑳の量と㉑の量を合計したもの(自動計算)
1	1502 がれき類(アスファルト)	1,000						0		1,000	1,000							0	0
2								0		0								0	0
3								0		0								0	0
4								0		0								0	0
5								0		0								0	0
6								0		0								0	0
7								0		0								0	0
8								0		0								0	0
9								0		0								0	0
10								0		0								0	0
11								0		0								0	0
12								0		0								0	0
13								0		0								0	0
14								0		0								0	0
15								0		0								0	0
16								0		0								0	0
17								0		0								0	0
18								0		0								0	0
19								0		0								0	0
20								0		0								0	0
合計		1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

廃棄物管理組織図

